

母性看護学

受験番号

〔設問 1〕

産褥精神病は、分娩 500～1000 件の分娩に対し 1 人が発症すると報告されています。急激に症状が悪化し錯乱状態になると、自殺やわが子への虐待などを引き起こす恐れがあります。そのため、看護職は日々の関わりの中で、女性のメンタルヘルスの不調を早期に発見することが必要となります。そのことを踏まえ、以下の問いに答えなさい。(50 点)

- 1) 周産期におけるメンタルヘルスの不調を早期に発見するための女性およびその家族も含めた取り組み（自身の取り組みと所属組織の取り組みの両方）について論じなさい。（25 点）

- 2) 産褥精神病と診断された女性とその家族にはどのような支援が必要か。医療機関における支援について論じなさい。また、医療機関と市町村との連携による対応について、あなたの考えを述べなさい。(25点)

母性看護学

受験番号

〔設問2〕

令和5年度の日本の出生数は727,277人、合計特殊出生率は1.20となっています。少子化は社会問題であり早急な対策が求められ、厚生労働省は子ども・子育て支援に関する様々な事業を展開しています。このような状況に関し、以下について論じなさい。(50点)

1) 日本の少子化の背景について3つ挙げ、説明しなさい。(20点)

2) 少子化対策に関連した施策や取り組みを1つ挙げて説明しなさい。また、そのなかでの看護職の役割についてあなたの考えを述べなさい。(30点)